

令和9年度

関西医科大学 大学院医学研究科

博士課程

募集要項



関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

関西医科大学 建学の精神

本学は、「慈仁心鏡」、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

関西医科大学 大学の使命

本学は、独創的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る医療人を育成するとともに、深く医学、看護学及びリハビリテーション学を研究し、広く文化の発展と公共の健康・福祉に寄与することを使命とする。

目 次

博士課程

教育の理念	P.1
3つのポリシー	P.2
試験概要	P.3
受験資格	P.3
試験実施日程	P.4
出願資格審査について	P.4
出願手続	P.5 ～ P.6
選抜方法	P.6
合格発表	P.7
入学手続	P.7
納入金／授業料免除制度等	P.7 ～ P.8
研究分野紹介	P.8 ～ P.12
問い合わせ先	P.12



◆ 教育の理念 ◆

関西医科大学大学院医学研究科の博士課程は、基礎医学、社会医学及び臨床医学系を融合した高度に専門的な研究分野において、医学に関する基礎生命科学の基礎理論並びに先端医療への応用を学習・研究することにより、医学研究者として自立し国際的に研究活動を行うに必要な高度の研究能力と、指導的立場たるにふさわしい豊かな学識および人間性を養うことを理念とする。

目 標

- 1) 医学研究の推進：世界的研究拠点を形成して生命現象の真理を探究し、世界的水準となる医学研究成果を創出する。
- 2) 医学研究者の育成：国際的視野に立って独創的な研究活動を行い、後進を指導する能力及び豊かな人間性と広い学識を併せもつ優れた医学研究者を育成する。
- 3) 高度専門職医療人の育成：高度かつ専門的な医療知識及び技術を修得し、診療に根ざした臨床研究を展開する能力をもつ指導的医療人を育成する。
- 4) 社会貢献：基礎医学、社会医学及び臨床医学研究の成果を医療等に応用し、人類の健康増進と福祉向上に寄与するとともに、知的財産として活用し、以て一般社会に還元する。

◆アドミッション・ポリシー◆

1. 世界的な医学研究成果を創出しようとする熱意のある人
2. 優れた医学研究者として活躍する意欲と先駆的な研究活動を志す人
3. 指導的医療人として医学分野で活躍する意欲のある人
4. 医学研究の成果を応用し、人類の健康増進と福祉の向上に寄与する意思のある人

◆カリキュラム・ポリシー◆

1. 各研究分野において個別の研究指導を受けるリサーチワークに加えて、研究分野の垣根を越えて幅広く医学研究に必要な知識と技術を身につけるコースワークで構成する。
2. コースワークでは、医学研究を行うにあたって必須の知識を共通コースで学ぶ他に、選択必修コースのいずれかに参加することにより、定期的なコースミーティングとリトリート(合宿)を通じて視野を広げ、研究発表の指導を受ける。
3. 3年次に選択必修コースにおいて研究中間発表会を開催し、学位取得に向けてコース参加教員からのチェックと指導を受ける。
4. 企画セミナー、大学院講座で国内外の著名な研究者による講演を受講する。
5. 充実した学内共同研究施設を使いこなすために、施設利用講習会や研究技術シリーズを受講する。

◆ディプロマ・ポリシー◆

関西医科大学大学院医学研究科医学専攻の博士課程を修了し、以下の教育目標を全て満たしたと認められる者に博士(医学)の学位を授与する。

1. 高度な情報収集・分析能力があり、科学的態度に基づいてデータを解釈できる。
2. 医学における幅広い学識と、高い倫理観を身につけている。
3. 自らの専門領域において、自立して研究活動を行うのに必要な専門的知識と研究能力がある。
4. 研究成果を論文として発表し、グローバルに情報発信ができる。

試験概要

試験種別	募集人数
第一次募集（一般入試・社会人入試・外国人入試・ダブルディグリープログラム入試）	50名
追加募集（一般入試・社会人入試・ダブルディグリープログラム入試）	

- ・外国人入試の詳細は本学ホームページ（<https://www.kmu.ac.jp/juk/>）を参照してください。
- ・トリノ工科大学、ヴェネツィア・カフオスカリ大学とのダブルディグリープログラムの出願を希望する場合は個別にお問い合わせください。
- ・第一次募集で定員に達した場合は追加募集は行いません。

受験資格

<一般入試>

- (1) 大学（医学、歯学、修業年限6年の獣医学又は薬学を履修する課程）を卒業した者および令和9年3月に卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者。ただし、最終の課程が6年制である場合は、18年未満でも認める。
- (3) 防衛医科大学校を卒業した者
- (4) 大学院研究科修士課程を修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者

以下の者は事前の出願資格審査が必要です。

- (5) 大学（医学、歯学、修業年限6年の獣医学又は薬学を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、修業年限6年の獣医学または薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) その他、本大学院において、大学（医学、歯学、修業年限6年の獣医学または薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者（令和9年4月1日までに24歳に達する者も含む。）

<社会人入試>

前（1）～（6）号のいずれかに該当し、且つ、病院、教育・研究機関、官公署、その他民間会社等に在職している者、または入学時に就業が見込まれ、大学院入学後もその身分を有する者（入学時点で臨床研修2年目となる者も可）。なお、出願にあたっては、在職証明書（本学勤務の医師を除く）、及び所属長作成の受験許可書（本学勤務者は病院長作成のものであること）が必要です。また、開業医等で在職証明書が発行できない場合は、職業を有することが確認できる書類が必要です。

<その他>

前（2）号及び（5）号に定める外国においての学校教育は、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものを受けた外国の学校が授与し、かつ、（2）号による者は最終の課程の修業年限が5年以上、（5）号による者は最終の課程の修業年限が3年以上の課程を修了した者も含む。

試験実施日程

< 一般入試・社会人入試共通 >

	第一次募集	追加募集
出願資格審査書類受付期間 * 受験資格(5)～(6)該当者	令和8年10月13日(火)～ 10月23日(金)	令和8年12月14日(月)～ 12月25日(金)
願書受付期間	令和8年10月13日(火)～ 11月20日(金)	令和8年12月14日(月)～ 令和9年1月22日(金)
試験期日	令和8年12月5日(土)	令和9年2月6日(土)
合格発表	令和9年1月13日(水) 正午	令和9年2月26日(金) 正午
入学手続期間	令和9年1月13日(水)～ 1月29日(金)	令和9年2月26日(金)～ 3月5日(金)

※1 受験資格(3ページ)の(1)～(4)に該当する方は出願資格審査は不要です。直接願書をご提出ください。

※2 受験資格(3ページ)の(5)～(6)に該当する方は事前の出願資格審査が必要です。

受審漏れのないようご注意ください。

出願資格審査について 受験資格(5)(6)該当者

出願に先立ち出願資格審査を必要とする者は、下記期間に必要な書類を提出または郵送してください。なお、**郵送時は封筒の表に「出願資格審査書類在中」と朱書きし、郵送してください(書留等)。**

・ 出願資格審査書類受付期間

第一次募集：令和8年10月13日(火)～ 令和8年10月23日(金)

追加募集：令和8年12月14日(月)～ 令和8年12月25日(金)

・ 出願資格審査書類

審査に必要な書類は、本学ホームページ(<https://www.kmu.ac.jp/juk/>)を参照してください。

指定のないものは様式任意です。

・ 出願資格審査書類提出先

5ページの「出願手続」の提出先と同様です。

出願手続

(1) 入学願書受付期間

第一次募集：令和8年10月13日（火）～11月20日（金）

追加募集：令和8年12月14日（月）～令和9年1月22日（金）

(2) 提出方法

期日までに、大学院課窓口へ直接提出または郵送してください。なお、**郵送時は封筒の表に「出願書類在中」と朱書きし、郵送してください（書留等）。**

(3) 提出先

〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号

関西医科大学医学部事務部大学院課 Tel：072-804-0101（内線2225）

(4) 提出書類

<一般入試、社会人入試共通>

◎印は全員必須、その他は該当する場合のみ提出が必要です。

◎入学願書	本学所定の様式に記入。入学願書の裏面には、高等学校入学から現在に至るまでの経歴を年次に従い、漏れなく記入すること。
◎受験票・ 受験写真票	本学所定の様式に記入。
◎写真2枚	3ヶ月以内に撮影のもので上半身正面脱帽像に限る。 タテ4.5cm×ヨコ3.5cm以内。裏面に氏名を記入した上で、 上記願書および受験写真票の所定欄に貼付すること。
◎入学検定料	20,000円 ※入学検定料を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込ください。 （手数料本人負担） ※振込依頼人名の頭に「INND」と入力するようにしてください。 （例）「INND カンサイノウ」 金融機関 りそな銀行（銀行コード0010） 支店名 守口支店（支店コード211） 預金種別 普通預金 口座番号 4667068 口座名義 学校法人関西医科大学 （か） ガク）カンサイイカダ イガク
卒業証明書（大学等） （または卒業見込み 証明書）	本学卒業者、および出願資格審査で提出済みの者は不要。
修了証明書（大学院等）	大学院修士課程修了者の場合は提出のこと。 但し、本学修了者、および出願資格審査で提出済みの者は不要。
医師免許証、 歯科医師免許証の写し	医師、歯科医師の資格を有する者は提出のこと。
外国語（英語）試験 免除制度の必要書類	試験のスコアを証する書類（コピー可）。 ただし、出願日から遡って2年以内の結果に限る。

※婚姻等により、卒業証明書や成績証明書の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を併せて提出すること。

<社会人入試のみ必要>

在職証明書	本学勤務者は不要。開業医等で在職証明書が発行できない場合は、職業を有することが確認できる書類。
受験許可書	本学所定の様式に記入。勤務先の代表者作成のものであること (本学の各附属病院勤務の場合、病院長作成のものであること)。

選抜方法

入学者の選考は、学力試験（外国語試験、研究分野別試験）を実施します。

外国語(英語)試験

試験時間：150分

英文の読解力、記述能力を問います。

辞書の使用を許可します（医学専門用語辞典可）。ただし電子辞書は不可。

※外国語(英語)試験免除制度について

詳細は本学ホームページ (<https://www.kmu.ac.jp/juk/>) を参照してください。

※過去問題の閲覧について

過去問題の閲覧を希望する場合は事務局(医学部事務部大学院課)までお問合せください。

研究分野別試験

入学を希望する研究分野が出題する試験で、専門知識等を問います。

試験日・場所等

試験当日は、受験票を持参し、午前9時15分までに試験場所に集合してください。(厳守)

第一次募集

試験期日		試験科目	試験場所
令和8年12月5日(土)	午前9時30分 ～12時	外国語(英語) 試験	関西医科大学枚方キャンパス 医学部棟1階「試験・実習室」
	午後	研究分野別試験	当日通知

追加募集

試験期日		試験科目	試験場所
令和9年 2月6日(土)	午前9時30分 ～12時	外国語(英語) 試験	関西医科大学枚方キャンパス 医学部棟4階「中会議室」
	午後	研究分野別試験	当日通知

合格発表

第一次募集：令和9年 1月13日（水）正午

追加募集：令和9年 2月26日（金）正午

本学ホームページおよび学内大学院掲示板に掲示するとともに、願書に記入された住所に文書で送付します。合格者には、入学手続きに必要な書類を同封します。

入学手続き

第一次募集：令和9年 1月13日（水）～1月29日（金）

追加募集：令和9年 2月26日（金）～3月 5日（金）

合格者は期間内に手続きを完了してください。手続きに当たっては、下記の納入金の払込及び書類の提出が必要です。詳細は、合格通知時に同封する書面で確認してください。指定の期日までに入学手続きが完了しない時は、入学の意思がないものと判断し、入学を許可しません。

納入金

	初年度	2年次以降
入学金	200,000 円 (200,000 円)	—
年間授業料（実習費込）	500,000 円 (400,000 円)	500,000 円 (400,000 円)
学生教育研究災害傷害保険加入料	3,300 円 (4,050 円)	—
年間計	703,300 円 (604,050 円)	500,000 円 (400,000 円)

注：（）内は長期履修5年制の金額

- ・授業料は1年分を前期と後期の2回に分けて請求を行います。
- ・入学手続き時には入学金、授業料（初年度前期分）、学生教育研究災害傷害保険加入料の納入が必要です。
- ・本学大学院医学研究科修士課程修了者（修了見込者を含む）は、申請により入学金の全額が免除されます。

授業料免除制度（博士課程）

社会人学生の授業料免除

社会人学生（医師、歯科医師免許を保有しない者、または臨床研修医及び研修歯科医）であって、前年（1～12月）の年収が、給与所得者は841万円、給与所得者以外は355万円を超えない者を対象とします。

研究分野別による授業料免除

基礎社会系・教養系研究分野に在籍する者であって、前年（1～12月）の年収が、給与所得者は841万円、給与所得者以外は355万円を超えない者を対象とします。

がんプロフェッショナル特別学生の授業料免除

がんプロフェッショナル特別学生であって、前年（1～12月）の年収が、給与所得者は841万円、給与所得者以外は355万円を超えない者を対象とします。

その他の制度

ティーチング・アシスタント（TA）制度

大学院の教育研究の充実、振興と学部教育の充実及び後継者の育成を図るために、大学院に在籍しながら本学における教育の補助を行う者に対して助成する制度です。年間最大10万円を支給します。

リサーチ・アシスタント（RA）制度

大学院の教育研究の活性化・高度化を図るとともに、大学院学生の奨学に資することを目的として、本学でのプロジェクト研究等の補助的業務に従事する者に対して助成する制度です。年間最大80万円を支給します（定員があります）。

研究分野

研究分野名	教育目標	講座・部門等
機能形態学・再生生物学	形態学を中心とした研究法の理論と実際を学び、研究に必要なデータの収集および分析を通じて、実験結果を正しく解釈することのできる能力や自主的に実験計画を立案・遂行可能な研究者の育成を目指す。	解剖学講座
認知脳科学	脳の構造と機能の基礎を理解し、ヒトや動物を用いた神経生理学的実験を通して、知覚・運動や記憶・学習等の認知機能の神経基盤を明らかにする。自主的に実験計画を立案でき、研究に必要なデータの収集および分析を行うことができる研究者の育成を目指す。	生理学講座
生体分子構造機能学	ヒトの営みのもととなる生命原理を理解した上で、真理を深く探究するために、重要かつ未知なる課題を抽出し、実験により結論を導くことができる研究者の育成を目指す。	医化学講座
分子薬理学・細胞外マトリックス医学	分子生物学・細胞生物学的手法、遺伝子改変動物の作成と使用について精通し、疾患を分子レベルで考察できる医師、自ら研究を立案・遂行できる医学研究者の育成を目指す。	薬理学講座
臨床病理学	正常組織の恒常性の維持、各種疾患の発生・進展の分子病態のメカニズムを免疫組織学的手法や分子生物学的な手法を用いることで、病因の解明や治療効果予測因子、分子標的薬の開発といったような、医学の発達に貢献できるような研究者の育成を目指す。	病理学講座
ウイルス腫瘍学	ウイルス感染を介した新興・再興感染症の細胞レベルおよび個体レベルでの発症機構や、宿主生体防御機構との相互作用の解析を通じて、研究に必要なデータの収集と分析の方法を訓練し、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	微生物学講座
幹細胞再生医学	再生医学に関して、最新の知識と研究の動向を学び、再生医学研究の意義を理解する。自ら再生医学研究を立案し、遂行するための基本的技術を習得する。再生医療における独創的な研究を発展させることができる広い視点を持ち、医学の発展に寄与することができる研究者の育成を目指す。	iPS・幹細胞再生医学講座
イノベーション再生医学	深い洞察力と豊かな発想力を磨き、独自性と先進性を兼ね備えた研究者の育成を目指す。	iPS・幹細胞再生医学講座
公衆衛生学	公衆衛生学の広範囲な分野から感染予防医学、熱帯医学、国際保健学、高齢者介護について、人びとの健康被害や健康予防、健康管理を理解し、フィールド調査や実験を通して現状を把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	衛生・公衆衛生学講座
疫学・予防医学	人の健康に影響する種々の要因を分析し、その中から利する要因と害する要因を特定し、前者を増強し、後者を減弱させるための対策とその評価の方法を修得する。	衛生・公衆衛生学講座
医療データ科学	医療現場から得られるレセプトデータをはじめとする大規模医療データを用いた実践的な演習を通じて、臨床疫学研究、疾患別のデータ解析、医療経済学的な分析を行い、臨床現場や社会に貢献する研究を設計、推進する能力を養成する。	メディカルデータサイエンス講座
法医学	法病理学、法中毒学、法遺伝学、生命倫理学の概念と社会貢献の意義を理解し、いずれかの分野の研究を通して法医学鑑定の精度、証拠能力、限界、将来性を把握し、自主的に研究を立案して実験データの収集および分析を行い、研究成果を法医学鑑定実務へ応用できる研究者の育成を目指す。	法医学講座

研究分野名	教育目標	講座・部門等
分子遺伝学	生体機能の維持機構から免疫による防御応答、さらにはがんをはじめとする疾患発症に至るまで、生命現象の根幹をなす分子遺伝学的な基盤を、分子・細胞生物学的手法や先進イメージング、免疫学的解析、疾患モデルマウス等を多角的に駆使して解明する。これらの探究を通じて、生体の「正常・応答・破綻」という各フェーズにおける病因・病態・治療法への理解を深め、科学的思考力と批判的分析力を備えて医学の進歩に貢献できる医師・科学者の育成を目指す。	附属生命医学研究所 分子遺伝学部門
細胞情報学	免疫系の生理と病理を理解し、シグナル伝達の視点から、分子レベルで免疫病態の制御法開発に取り組める研究者の育成を目指す。	附属生命医学研究所 生体情報部門
実験動物医学	動物の福祉向上および実験動物における種々の疾病の診断・治療・予防に関する知識を習得し、問題解決に応用できる能力を養う。また発生工学技術を駆使した遺伝子改変動物や疾患モデル動物の作製を理解し、その分子生物学的、生理学・免疫学または病理学等の解析について精通した研究者の育成を目指す。	附属生命医学研究所 モデル動物部門
神経機能学	分子生物学、生化学、生理学、イメージング、行動学を含む最先端の研究技術を習得し、これらを組み合わせて研究を実施する能力を獲得する。疾患の原因を分子レベルで理解し、新たな治療技術の創出につながる研究を自ら立案し実践する能力を獲得する。	附属生命医学研究所 神経機能部門
感覚創薬学	感覚創薬、人工冬眠・生命保護医療、感覚・脳・全身臓器ネットワーク機能などの先端研究分野を開拓する基礎や応用研究を自ら立案し実施できる能力を習得する。	附属生命医学研究所 侵襲反応制御部門
ゲノム医学	統計遺伝・生命情報学の知識および最先端のゲノム解析技能を習得し、ゲノム医学研究を主導あるいは支援できる人材を育成する。	附属生命医学研究所 ゲノム解析部門
ゲノム工学	細胞生物学と分子生物学の知識および最先端の遺伝子工学を習得し、それらの手法を用いて生命現象の分子メカニズムの解明や遺伝子疾患の革新的治療法の開発を主導できる研究者を育成する。	附属生命医学研究所 ゲノム編集部門
がん生物学	分子生物学、細胞生物学、実験病理学、基礎的なバイオインフォマティクスの研究手法を習得し、がんという複雑系を分子から個体レベルまで研究することが出来る人材の育成を目指す。	附属生命医学研究所 がん生物学部門
光免疫治療学	光免疫療法に適した新規標的分子の探索、標的分子に対する光免疫療法用薬剤の設計・作製、光免疫療法用薬剤の基礎的評価を包括的に行うことで、疾患に対する新規薬剤の開発手法について習得する。	附属光免疫医学研究所 基盤開発部門
免疫学	分子生物学、生化学、ウイルス学、免疫学的手法を用いて、さまざまな疾患の治療抗体探索、ワクチン開発の研究を行う。良い科学的疑問を起点に、新たな研究分野を独自で開発できる人材を育成する。	附属光免疫医学研究所 免疫部門
腫瘍病理学	腫瘍の発生・進展の分子メカニズムを分析し、分子機能を基盤にそれを反映する患者疾患の新たな病理・病態を解明する。さらに腫瘍治療学への応用性を視点として、これらを統合的・有機的に活かす能力を持つ総合的な分子病理学研究者の育成を企図する。	附属光免疫医学研究所 腫瘍病理学部門
血液・呼吸器・膠原病・感染症内科学	当講座は、血液、膠原病、そして呼吸器・感染症の3つの診療分野を担当している。大学院での研究はこれら分野をつなぐ、生体防御・免疫をキーワードに研究テーマとしている。この生体防御・免疫を学ぶことにより血液、膠原病、そして呼吸器・感染症それぞれの臨床へのより深い理解を促し、基礎的知識を持った臨床医としての熟成と、第一線で臨床と基礎をつなぐ研究を行う研究者の育成を目指す。さらに生体防御・免疫の領域で研究者として将来自立できるだけの幅広く深い専門的知識と、研究に必要な実験のデザインなどの研究手法や研究遂行能力を修得させる。	内科学第一講座
循環器・腎・内分泌代謝内科学	循環器・腎臓・内分泌代謝領域に関連する研究テーマを設定し、データを収集・解析して学術論文として発表することにより、独立した研究者として必要な能力・資質を身につけることを目標とする。	内科学第二講座
臨床不整脈学	不整脈に対する治療を臨床の現場で実践しつつ、その未解決な問題を明らかにし、これらを研究テーマとして必要なデータの収集および分析を行い、自主的に臨床研究ができる研究者の育成を目指す。	内科学第二講座
消化器内科学	大学における研修、教育病院にて広く一般消化器内科を研修する中で興味を持った領域に関する研究テーマを設定し、各人のテーマに必要な実験計画を立案し研究を通じて得られたデータを解析し論文としてまとめることで、医学研究の方法を習得し臨床医としての素養を身につけ研究者としても独り立ちできることを目標とする。	内科学第三講座
呼吸器腫瘍内科学	悪性腫瘍の特徴とその治療体系や予後を理解し、予後改善に向け必要な研究課題について把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画あるいは臨床試験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	呼吸器腫瘍内科学講座

研究分野名	教育目標	講座・部門等
心身医学	心理社会面の身体病や身体症状への影響、身体病の心理社会面への影響を理解し、心身の相関を科学的に検討する方法を広く把握した上で、研究テーマに沿って、研究計画を立案・実行できる研究者の育成を目指す。	心療内科学講座
臨床神経学	神経・筋疾患の理解を深めるために、広く分子生物学、生化学、遺伝学、神経解剖学、神経生理学、神経病理学などを学習すること。そのためには科学研究の基礎を体得することが必須である。すなわち、現状の問題点を抽出すること。それを解決するための方策あるいは仮説を立てること、それを検証するための研究計画を立案すること、自ら研究を実行して、その結果の解析から問題点の解決にいたる、あるいは新規の情報を見出すこと。	神経内科学講座
精神神経科学	日々の精神科臨床で感じた疑問（Clinical Question）を自主的に解明し、その結果を広く発信し、精神科診療の改善に貢献できる研究者の育成を目指す。	精神神経科学講座
発達小児科学	小児の成長と発達の特性、およびそれらに異常をきたす既存の疾患の病態・病因や治療法について把握し、病因の不明な疾患の研究を行うために必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	小児科学講座
上部消化管外科学	上部消化管外科の病態生理を理解したうえで、現状の医療の課題を把握し、課題を解決するための研究を立案・計画・分析できる研究者の育成を目指す。先進医療を担う医師及び医学研究者として必要な知識、倫理観、リサーチマインドを養うことを目標とする。	上部消化管外科学講座
下部消化管・腫瘍外科学	下部消化管・腫瘍外科全般における診断、病態生理ならびに治療法を理解し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	下部消化管外科学講座
大腸病態生理外科学	（講座に問合せください）	下部消化管外科学講座
肝臓外科学	肝臓外科における診断、病態生理ならびに治療法を理解し、学術論文、学術集会や大学院講義を通じて広く外科学について把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	肝臓外科学講座
胆膵外科学	臨床に直結した研究テーマに対して、臨床検体を用いて治療法の確立や病態解明を行う過程を学習し、新規知見を英文にまとめて世界に発信することができる研究者の育成を目指す。国内ならびに海外の施設との共同研究を通じて、質の高い臨床研究の立案・計画・実施・解析・論文作成を行い、胆膵外科医としての将来を開拓する。	胆膵外科学講座
小児外科学	リサーチマインドを持った小児外科医育成を目標に、診療に根ざした基礎および臨床研究を指導・推進し、国内のみならず世界に発信できる人材を育てる。	小児外科学講座
乳腺外科学	乳癌の臨床病理を理解し、乳癌の病態の解明と特性にもとづいた個別化治療法の開発を行うことのできる臨床研究医の育成を目指す。	乳腺外科学講座
心臓血管外科学	心臓血管外科における診断法、外科治療法、術後管理について広く把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験、研究計画を立案できる研究者の育成を目指す。	心臓血管外科学講座
呼吸器外科学	呼吸器外科学における診断法、外科治療法、術後管理について広く把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験や研究計画を立案できる研究者の育成を目指す。	呼吸器外科学講座
脳神経病態治療学	既存の脳神経外科領域疾患の病態を理解し、学会活動、文献渉猟をとおして自主的に未解決の病態を抽出して、それらを解決するための研究に必要なデータの収集、分析をおこない、実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	脳神経外科学講座
整形外科科学	運動器の構造と機能を理解し、基礎研究と臨床研究を通して幅広く整形外科疾患について把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	整形外科科学講座
リハビリテーション医学	活動の障害（activity disorders）に関わる病態を理解し、機能評価を通して広くリハビリテーション治療のあり方を把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	リハビリテーション医学講座
形成外科学	医学の基礎を理解し、形成外科学における形成再建の探求と応用に繋がる先進的かつ理想的医療への展開を念頭に自ら研究テーマの設定や実験計画を立案でき、自主的に研究に必要なデータを収集、分析を進め、指導者や他の研究者とディスカッションを進めることのできる研究者の育成を目指す。	形成外科学講座
皮膚科学	基礎的および臨床研究を通じて、皮膚疾患の病態を理解し、発症機構の解明や新規治療薬の開発につながる研究を目指す。また、皮膚科診療に役立つように基礎的知識に基づいた考え方を習得する。	皮膚科学講座

研究分野名	教育目標	講座・部門等
腎泌尿器外科学	副腎、腎、尿路性器に発生する疾患の特性について、包括的に理解する。さらにその発症メカニズム、標準治療、新規治療薬、新規低侵襲治療、outcomeの予測因子など、どのような問題が未解決であるか抽出し、それらの問題を解決するための研究計画を立案する。実験データあるいは臨床データを適切に蓄積・保存し、仮説を立証するための解析を行う。さらにそれらのデータを論文化する。	腎泌尿器外科学講座
眼視覚学	実験または臨床研究を通して広く視覚器について把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	眼科学講座
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域ならびにアレルギー学・免疫学を理解し、臨床サンプルや疾患マウスモデルを通じて広く疾患形成のメカニズムについて把握する。研究に必要なデータの収集および解析をおこない、自主的に実験計画を立案することが出来る能力を養う。また、研究で習得した知識、技術、理論的思考力を臨床にフィードバックし、疾患の解明と新しい治療戦略を開発することが出来る臨床研究医の育成を目指す。	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座
放射線科学	医学における放射線の役割を理解し、臨床および基礎医学を通じて広く放射線について把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	放射線科学講座
放射線腫瘍学	がんを対象とする腫瘍学分野における放射線治療の臨床的・生物学的・物理的な研究を行う。自ら課題を見出し、科学的洞察に基づいた独自の研究を立案・遂行できる研究者育成を目指す。	放射線科学講座
画像診断・画像応用治療学	画像診断学・画像応用治療学（IVR、RI内用療法、小線源治療）に精通し、自立して研究活動を行うのに必要な専門的知識を身につけ、研究に必要なデータ収集や解析を行い、実験計画を遂行できる研究者の育成を目指す。また、研究成果を論文として発表し、グローバルに情報発信ができる研究者の育成を目指す。	放射線科学講座
産科学・婦人科学	産婦人科領域に関する生理的および病理的機能調節機構を理解して、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	産科学・婦人科学講座
麻酔科学	クリティカルケアで遭遇する様々な侵襲に対する生体応答の病態生理と各種薬剤の影響について理解して、未解決な課題を把握しそれを解決する研究のための方法論を学び研究を遂行し、データを取りまとめ、研究成果を公刊する一連の研究活動を自主的にに行う研究者の育成を目標とする。	麻酔科学講座
麻酔薬理学	麻酔薬の薬物動態・薬理学を理解し、どのように個々の患者に対して適切な麻酔を行うかを考える基礎を教える。そしてまた、麻酔薬の効果を脳波や誘発電位で判定する様々な方法を学び、それに基づいてさらに優れた効果判定法を開発できる研究者の育成を目指す。	麻酔科学講座
救急・災害医学	救命救急医療の分野でみられる種々の生体反応について基礎的、臨床的知見を深め、系統的侵襲学の素養を身につけた医学者を育成する。保健衛生行政、消防保安の仕組みを理解し、社会制度としての救急医療体系構築理論を身につけた人材を育成する。	救急医学講座
歯科口腔外科学	歯科医師として口腔内の機能や解剖を十分に理解し、周術期における歯科の役割を理解する。過去の文献を検索し、疾患に対して現在どこまで解明されているかを把握し、今後どのような研究をすべきかを考察し、自ら研究計画を立案する力を養う。また研究解明のためデータ収集や解析を行い、知識や技術・思考力を養う。さらに疾患の本態を解明し、その治療法を確立することを目指す。	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター
臨床検査医学	研究活動を介して、検体検査および生理機能検査におけるフローを理解し、検体品質管理、測定法の原理、検査結果を適正に判断する能力の向上を図る。研究倫理を学び、研究に必要な知識を習得、データの収集および解析をおこない、主体的に実験を計画・実行することが出来る能力を獲得する。新しい検査法の開発だけでなく、研究で習得した知識、技術、理論的思考力を当該分野にフィードバックし、後進の育成をおこなうことが出来る人材育成を目指す。	附属病院臨床検査医学センター
スポーツ医学	スポーツ外傷・障害の発生機序、診断、治療、予防に関する体系的知識を修得し、基礎研究および臨床研究を通じてスポーツ医学領域の課題を多角的に理解する。運動器科学・バイオメカニクス・画像診断を統合し、研究に必要なデータ収集・解析能力を身につけ、自主的に研究計画を立案・遂行できる研究者の育成を目指す。	附属病院スポーツ医学センター
健康科学	健康関連領域としての循環動態、代謝、骨格筋機能、動脈硬化、抗加齢医学、脳機能、行動医学、IT 領域につき研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案および実行できる研究者の育成を目指す。	附属病院健康科学センター

研究分野名	教育目標	講座・部門等
数理解析学	数理解析学とは、具体的な生命現象を抽象的に数理モデル化し、自然科学の法則に基づく数理的な解析を行い、得られた結果をまた現実の世界にフィードバックすることで、現象解明や改善の方向性を与える等の効果につなげる研究を対象としている。また近年多様化する生物統計学についても研究対象とする。研究対象に応じて、多岐に亘る数理モデルを選択して数理解析に用いることから、数理モデルの体系的な知識とその取り扱いを講義・演習にて体得する。また実習・論文作成指導では、文献抄読および討論を通じて、独自に研究を推進できる能力を身につける。	数学教室
細胞生物学	細胞接着分子を通して広く細胞間相互作用および神経回路形成について把握し、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に実験計画を立案できる研究者の育成を目指す。	生物学教室
医学英語教育学	医師や他の医療従事者が、英語を利用してキャリアの各段階において活躍するために必要なスキルと知識、またその学習法、教授法、評価法について、応用言語学や教育学、パブリケーションサイエンスなどの観点から、研究に必要なデータの収集および分析を行い、自主的に調査計画を立案および実行できる研究者の育成を目指す。	英語教室
死生学	行動医学の学際的視点に基づき、生物学的・心理学的・社会的要因を統合的に理解し、人間の健康、疾病、ならびに生と死に関わる諸問題を科学的に探究できる研究者および高度専門職者の育成を目的とする。特に死生学（thanatology）を中心領域として、人生の最終段階における意思決定、喪失とグリーフ、緩和ケア、医療倫理、患者・家族・医療者の相互作用に関する研究を推進し、臨床医学および社会実装へ貢献できる研究能力の獲得を目標とする。	行動医学教室
医学教育学	世界標準の医学教育学の基礎を理解し、教育実践を通して教育理論について把握し、医学教育研究に必要なデータ収集及び分析を行い、自主的に研究計画を立案できる研究者の育成を目指す。	教育センター
分子医学	最先端の分子医学について、知識だけではなく、その動向も学び、意義を理解する。分子医学を学ぶ手段として、ラマン分光測定とイメージングの技術と原理を理解し、細胞・細菌・真菌・ウィルス・エクソソームなど臨床サンプルを分子レベルで解析する技術を学び、健康への影響を理解する。	医工学センター

【問い合わせ先】

関西医科大学 医学部事務部大学院課
 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
 電話：072-804-0101(代表) FAX：072-804-2548
 Email：gradumedoffice@kmu.ac.jp

〔関西医科大学受験生入試サイト〕



